

雑 報

宇宙船計画に果すオーストラリアの役割 (パース)

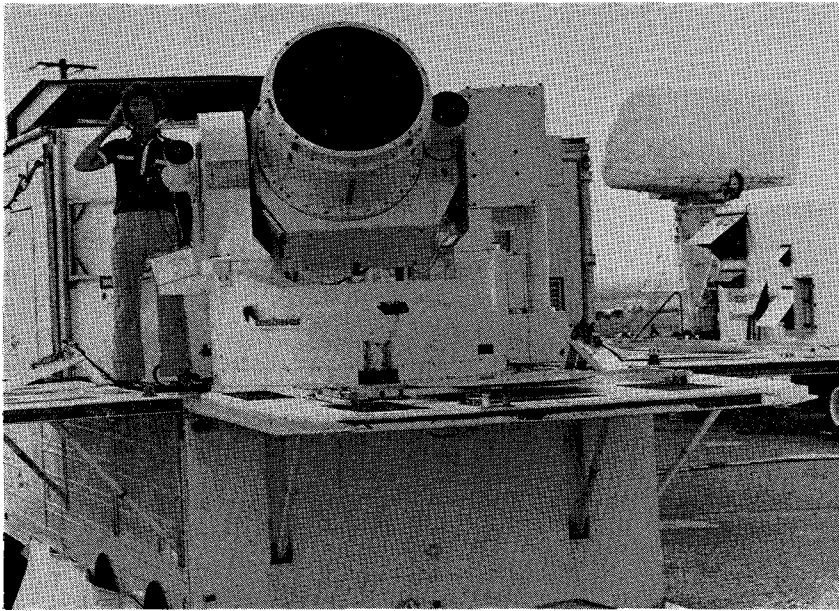
アメリカの航空宇宙局 (NASA) が来年行おうとしている宇宙船飛行計画において、オーストラリアは再び重要な役割を果すことになった。

これは、1つは、オーストラリアの首都キャンベラに設置された固定装置、もう1つは大陸の反対側西オーストラリア州にある小型の移動ユニットの2つの追跡ステーションが NASA が世界的規模で行なう宇宙船の追跡ネットワークに参加するというものである。移動ユニットの方は、無人のサテライトのレーザー追跡ステーションで、有人の宇宙船から送られてくる UHF の音声電波を受信できるようにグレード・アップされている。

西オーストラリア州パースの北約 350 キロにあるミンゲニューの小さな農場の真中附近に置かれたこのユニット装置は、世界中をとりまく 8 つの移動レーザー追跡ステーションの 1 つである。今回 UHF が受信できるように改良されたことで、宇宙船からの乗組員の声をとらえるのに、軌道の 17 パーセントから 23 パーセントまで拡大してできるようになるだろう。

これら 8 つの移動レーザー追跡ステーションは、地球の地殻の変動を調べ、どうして地震が起きるかを研究する 10 年計画の一環として NASA が設置したものである。

追跡ステーションからでるレーザー光線はサテライトにあたってはねかえり、地球の大陸棚の動きを伝える。この調査は、宇宙船計画が開始された今後も継続して行なわれる。
(オーストラリア広報局)



◀ 追跡ステーションのテレスコープ。右側にある小さな管はレーザー光線の出口。

1981年2月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—, —	6	20, 144	11	13, 123	16	8, 105	21	12, 89	26	9, 108
2	13, 161	7	14, 88	12	13, 89	17	—, —	22	11, 93	27	10, 128
3	16, 110	8	10, 99	13	10, 113	18	7, 116	23	—, —	28	13, 115
4	14, 103	9	10, 93	14	—, —	19	8, 102	24	—, —	29	*
5	17, 122	10	10, 107	15	—, —	20	—, —	25	8, 51	30	*

(相対数月平均値: 161.8)

昭和 55 年 4 月 20 日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町251	啓文堂 松本印刷
定価 300 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31 局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13595